

## 志の実現に向けて 33

### はじめに

2月中旬に入りました。暖かい日が多くなりました。

さて、能登半島地震から1か月半が経過しました。地域の再生に向けて取組が進められていますが、その道のりはまだ長いようです。石川県立輪島高等学校の校長先生は、避難所になっている学校の様子についてブログを通して伝えられています。2月5日（月）のブログの見出しは、『大変なときは「大」きく「変」わるチャンスなんです』でした。以下はその一部です。

今回大人でさえ怖かった地震  
小学生はなおのことだと思います

子どもたちの苦しみや悲しみは  
はかり知れないものがあります

災害を経験した子どもたちが  
このつらい時期を乗り越えるためには  
我々大人が正しい知識を持ち  
子どもたちの傷ついた心を理解して  
愛情のこもったケアをしていくことが  
大切です

今回の地震と火災は  
子どもたちから  
大切な人  
家と部屋  
仲良しのペット  
お気に入りのぬいぐるみ  
大好きな毛布  
いろんなものを奪いました

子供達の小さな胸は  
その時の恐ろしさで  
今でもいっぱいです

だからこそ  
今回高校に小中学校を受け入れることに  
踏み切りました  
お兄さんやお姉さんと  
同じ学校に通えること  
少しでも安心できますように  
ご家族もきっとその方が安心でしょう

災害の後  
子どもたちは  
「おとなしくて良い子」  
のように見えることがあるそうです

子どもたちの悲しみや苦しみを  
見落とすことのないように  
しっかりと寄り添って  
いきたいと思います

現在、輪島高校には、6つの小学校、中学校、高校と3つの学校種の子どもたちが集まっています。年齢差でいえば12歳の差のある子どもたちが同居していることとなります。年齢をこえた仲間たちとともにこの状況乗り越えてくれることを願っています。また、小学校、中学校を受け入れるに至った輪島高校の教職員の方々の優しさに敬意を示したいと思います。

### 「大学入学共通テスト」について

2月5日（月）に大学入試センターからこの1月に行われた大学入学共通テストの実施結果の概要が発表されました。それによると、志願者数が49万1,914人、受験者数が45万7,608人、受験率（受験者数／志願者数×100）が93.03%で、受験率は前年度（2023年度）の92.48%と比べて0.55ポイント増加しました。大学入試センターの最終集計によると、本試験の主な各教科・科目の平均点は次の通りです。

教科	科目	平均点
国語		116.50点
地理歴史	世界史	60.28
	日本史B	56.27
	地理B	65.74
公民	現代社会	55.94
	倫理	56.44
	政治・経済	44.35
	倫理、政治・経済	61.26

教科	科目	平均点
数学①	数学I・A	116.50点
数学②	数学II・B	
理科①	物理基礎	28.72
	化学基礎	27.31
	生物基礎	31.57
	地学基礎	35.56
理科②	物理	62.97
	化学	54.77
	生物	56.62

なお、来年度は新課程入試が始まることもあり、大学入学共通テストも現行からいくつかの点で変更されます。そこで、**出題科目・試験時間**の変更点と対策についてまとめています。

## ■ 出題科目・試験時間の変更点について

### 【1日目】

(現行)

1科目受験 10:40~11:40 (60分)	地歴・公民 「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」
2科目受験 9:30~11:40 (60分×2)	「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」
13:00~14:20 (80分)	「国語」
15:10~16:30 (80分)	「英語」リーディング
17:10~18:10 (60分)	「英語」リスニング

(変更)

1科目受験 10:40~11:40 (60分)	地歴・公民 「 <b>地理総合、地理探究</b> 」 「 <b>歴史総合、日本史探究</b> 」 「 <b>歴史総合、世界史探究</b> 」 「 <b>公共、倫理</b> 」 「 <b>公共、政治・経済</b> 」 「 <b>地理総合、歴史総合、公共</b> 」
2科目受験 9:30~11:40 (60分×2)	
13:00~ <b>14:30</b> <b>(90分)</b>	「国語」
15:20~16:40 (80分)	「英語」リーディング
17:20~18:20 (60分)	「英語」リスニング

現行では9:30から始まって、順に地歴・公民、国語、英語と続き、18:10に終わります。試験教科・科目の順番に変化はありませんが、地歴・公民が10科目から6科目に変更します。国語では、現代文2題、古文1題、漢文1題だったのが、第3問に現代生活に関する題材について図やグラフを読み取る問題が配点20点で追加され、現代文3題、古文1題、漢文1題の計5題に変更されます。配点は、現代文は110点、古文・漢文は90点で、試験時間は80分から90分に変更されます。

### 【2日目】

(現行)

9:30~10:30 (60分)	理科① 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」
11:20~12:30 (70分)	「数学I」「数学IA」
13:50~14:50 (60分)	「数学II」「数学IIB」 「簿記・会計」
1科目受験 16:50~17:50 (60分)	理科② 「物理」「化学」 「生物」「地学」
2科目受験 15:40~17:50 (60分×2)	

(変更)

<b>1科目受験</b> <b>10:40~11:40</b> <b>(60分)</b>	理科① 「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」
<b>2科目受験</b> <b>9:30~11:40</b> <b>(60分×2)</b>	「物理」「化学」 「生物」「地学」
13:00~14:10 (70分)	「数学I」「数学IA」
15:00~16:10 <b>(70分)</b>	<b>「数学IIBC」</b>
<b>17:00~18:00</b> <b>(60分)</b>	「情報I」

現行では9:30の理科基礎から始まって、数学、理科と続き、理科を受験する受験生は17:50まででした。来年からは、理科基礎も理科と同じ時間になり、午前中にまとまります。数学は午後からになり、最後に情報を受験します。理系は理科2科目と数学を受験し、最後に情報というかなりハードな日程になります。

## ■ 対策

### ● 時間内に多くの資料を読み解く読解力・情報処理の力が不可欠

センター試験と比較して、ほとんどの科目で、読み解くべき文章や資料の分量が増加し、時間的に非常に厳しい試験になっています。短時間で、多くの資料から適切に情報を読み取り、解答に必要な情報に正しくアクセスし、他の資料や教科書の学習内容と結びつけて考察する力が問われます。「読解力の養成」「知識を深く理解して応用する」「未知の設定でも知識を正しく活用して論理的に考察する」という姿勢を常に意識した学習の積み上げが求められます。

### ● 基礎知識の習得も確実に

「読解力」という側面にばかり気を取られて、基礎知識の習得がおろそかになることも、知識の正確な理解と定着は、これからも変わらず重要です。